

同志社大学(学部入学定員:6,035人(平成27(2015)年度))

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

同志社大学は、建学の精神である「良心教育」を実現するため、教育理念として「キリスト教主義」、「自由主義」並びに「国際主義」を掲げている。本構想は、高度な外国語運用能力を基礎的資質としつつも、キリスト教の徳育に基づき、自由でのびやかな進取の気性に溢れ、「良心を手腕に運用する」ことのできる、「考動する」グローバル人材(Global Competenceを有する人材)を輩出することを目的とする。

【構想の概要】

本構想では、有機的に連携した2つの教育プログラムである、留学を含む教育実践取組の「留学型」と、国内にいながらグローバル人材と成り得る教育を実践する取組の「国内型」を設定する。これによって、最終年度には「留学型」1,800名、「国内型」1,200名のグローバル人材を育成できる環境・プログラムを創出し、リベラル・アーツ教育を基盤とした教育等の取組の実施によって国内大学のグローバル化を牽引する。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

ラーニング・コモンズにおいてアカデミック・インストラクターやラーニング・アシスタントによる学習支援を継続して行った。海外大学での視察を活かし、学生が留学先での学習法を先取り体験できるように提供プログラム内容を再考し、改善した。また、ナンバリングは学部及び大学院で完了し、大学ホームページで公開しており、留学やダブルディグリーを検討する際に参照されている。

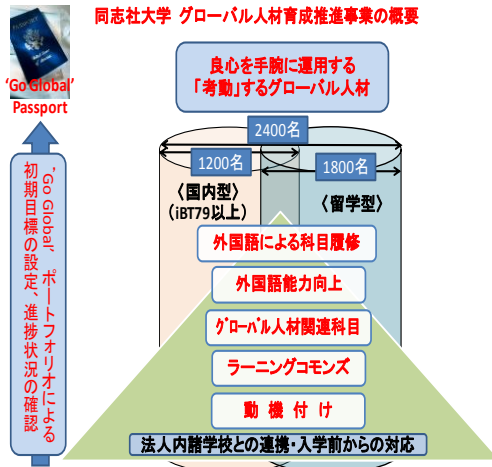
○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

本事業の取組内容や成果等について、本学ホームページ(英語・ハングル・繁体字・簡体字での掲載を含む)やFacebook及び国際センター独自FacebookやLINEを通じた発信、取組紹介パンフレット等の作成、また雑誌等への広告掲載、採択大学共同での各種広報活動を継続して行った。様々な機会において、学長や副学長より積極的に本事業取組に対するメッセージ発信や講演等を行う等、全学での協力体制を強化した。

○ 事務体制のグローバル化

内定者の入社前研修や語学資格試験受験料補助制度に加え、新たにe-learningによる英語学習サービスの提供を開始した。また、多様な英語による業務に対応できるよう、グローバルマインド研修や職場で役立つ英語コミュニケーション研修等を継続して実施した。

同志社大学 グローバル人材育成推進事業の概要



■ グローバル人材として求められる能力の育成

○ 英語による教養教育

これまでの取組を継続して行い、平成28年度に新たに開設するグローバル教育センターの設置準備を行った。少人数クラスかつ留学生との共修環境の中で外国語によって提供される科目群を学ぶことで、日本人学生に対してはグローバルな視点からの日本社会・文化の理解と国際的教養の涵養を、外国人留学生には日本理解を促進することを目的としている。また、培った外国語能力と教養教育科目での学びを発展させる場として、グローバル・リベラルアーツ副専攻を同時に設置、国際教養を英語で学ぶ海外フィールドワーク科目も開発した。平成28年度のスタートを前に、学生向けの説明会を複数回実施し、多くの学生の参加があった。

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

一般入試の「英語」では、読解力と思考力を中心とした総合的な英語運用能力を試している。本学の英語問題の特色は長文読解であり、高校卒業レベルの英語運用能力だけではなく、大学において専門性や教養を養う基礎となる論理的思考力も同時に求めている。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

プレテストに語学能力試験CASECを利用し、全学統一方式による英語の習熟度別クラス編成を11学部にて実施。同テストを春、秋の学期末にも受験させることで、英語力を分析的に把握することができ、授業運営へ活かした。グローバル教育センターの設置を受け、同志社英語集中プログラムの策定を行った。英語によるアカデミックスキルの修得を目的とし、グローバル・リベラルアーツ副専攻や海外留学への実現へと繋げる。昨年度より行っているTOEICやTOEFLの対策講座に加え、IELTSの対策講座を新たに開講する等、一層の充実を図った。また今年度より、全学部の3年次生を対象に、TOEIC IP®テスト一斉受験を実施し、学生の語学力把握に努めた。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

本事業により新規に設けられたDoshisha Global Archivesにて本学に拠点を置く海外大学との合同授業を実施するなど、一層の共修環境の創出と実践を図った。また、所蔵している図書7,000件を大学の図書検索システムからも検索できるよう、準備を進めた。

○ グローバル教育力向上のための取組

平成24年度より実施している「英語で授業を実施する教員のためのFD研修」を継続して実施した。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

ラーニング・コモンズにおいて留学コーディネーターや留学アシスタントによる相談を継続して行い、相談件数は1,600件を超えた。国際センターの学生組織SIEDによる活動は3年目を迎え、多くの学生が外国人留学生との異文化交流により、留学意欲に目覚めたり、語学能力の重要性を自覚したりする等効果をあげている。本学の留学プログラムの紹介や留学までのロードマップについてまとめた冊子を作成し、本学学生のみならず、新入生向けに入学前にも配布する等、留学促進に向けた取り組みの強化を行った。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

留学中の安全面の啓発や留意すべき点をまとめた学生向けハンドブックを作成し、配布した。イラストを多用したり、携帯しやすいついサイズにする等工夫を行い、危機管理体制を強化した。また、将来国際的に活躍したいと考える学生に対し、グローバルキャリアフェアを1ヶ月に渡り実施した。グローバルに活躍する本学OB・OGによる講演会や国際業務に携わっている企業の若手職員によるパネルディスカッション等を行い、延べ866名の参加があった。6月と1月には、英語による合同企業セミナーEnglish Career Fairを行い、高い語学力を持つ学生がより具体的にキャリア形成を行えるよう支援した。



SIEDによるイベントの様子

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

同志社大学が目指すグローバル人材とは、良心に基づいて、自らの責任で思考し、行動できる、「良心を手腕に運用する」「考動する」人材である。卒業時まで学生が修得すべき具体的能力としては、① TOEFL-iBT 79点を基本標準とする高度な外国語運用能力、② 日本と世界の近現代史及び世界の諸宗教についての十分な理解力、③ 専門教育によって培われる専門領域の知識、④ 他者を理解し、他者に配慮できる、バランス感覚に優れた感性と品性、⑤ グローバル社会における「公正」と「正義」の実現を求める高度な倫理性が挙げられる。

本構想において実現する達成目標及び実績

全 学		達成実績					達成目標
		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語力スタンダードを満たす学生数				360人	517人	565人	1,200人
うち海外留学未経験者数(A)				230人	260人	281人	579人
海外留学経験者数(B)		693人	729人	565人	769人	832人	1,800人
卒業[予定]者数(C)		5,505人	5,679人	5,782人	6,166人	5,874人	6,015人
比率((A+B)/C)				13.7%	16.7%	18.9%	39.6%
神	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		2(1)	5(5)	0(0)	9(6)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	15/55	14/64	19/68	14/82	9/44	27/60
文	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		108(64)	105(49)	140(70)	120(43)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	140/655	143/666	113/643	138/704	131/698	235/670
社会	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		12(6)	16(6)	10(3)	63(40)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	34/449	60/376	69/431	78/457	76/406	120/450
法	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		94(71)	90(64)	89(68)	155(45)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	70/870	77/920	61/890	75/875	77/856	236/850
経済	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		40(23)	39(17)	51(35)	90(80)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	192/850	172/850	95/867	79/883	107/890	245/850
商	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		41(20)	68(47)	78(49)	148(135)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	149/846	132/881	94/870	124/896	130/820	223/850
政策	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		10(8)	45(22)	41(22)	58(30)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	35/331	39/392	37/365	69/446	59/393	110/375
*文情	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点、国連英検A級相当		17(11)	11(4)	19(14)	47(30)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	14/256	47/280	30/268	38/262	64/333	71/280
理工	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		15(12)	27(20)	15(9)	95(90)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	11/780	19/738	17/828	28/875	32/722	110/760
*生命	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		10(8)	11(10)	8(6)	48(28)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	20/202	13/212	16/262	9/275	14/268	46/210
*ス健	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		5(3)	6(5)	6(3)	39(36)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	5/135	3/160	5/160	6/146	6/169	40/210
心理	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		6(3)	12(11)	4(2)	28(16)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	8/76	10/140	9/130	10/164	7/155	37/150
[英語]*GC	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点相当、IELTS6.0		0(0)	54(0)	79(0)	80(0)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	-/-	-/-	-/-	66/66	81/81	80/80
[中国語]*GC	卒業時の外国語力スタンダード	中国語検定2級、あるいは漢語水平考試(HSK)5級		0(0)	28(0)	25(0)	40(0)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	-/-	-/-	-/-	35/35	39/39	40/40
*GR	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL-iBT 79点、CEFR B1相当合格者		0(0)	0(0)	0(0)	180(0)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	-	-	-/-	-/-	-/-	180/180

*文情：文化情報学部、生命：生命医科学部、ス健：スポーツ健康科学部、GC：グローバル・コミュニケーション学部、GR：グローバル地域文化学部 単位(人)
 ※構想調査において各学部の達成目標として設定していた海外留学経験者数に一部卒業[予定]者数に該当しない数値が計上されていたため、正確な数値へ修正した。
 但し、最終年度における達成目標数値の変更はない。

※1) 学部数が多く、本表が1頁以内に収まらない場合は、「海外留学経験者数」の期間別内訳を省略してもかまわない。
 ※2) 「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。
 ※3) 上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。